

■知里真志保 言語学者，民俗学者。アイヌ出身の語学の天才で，アイヌ文化研究者に必携の多くの著作を遺して，早世。

ちりましほ

伊藤博文暗殺1909＝ 現在の北海道登別市に生まれる。__おばはアイヌの叙事詩ユーカラの伝承者として有名な金成マツ。
韓国併合・・・1910＝ 1歳：のち「アイヌ神謡集」の著者になる姉幸恵が旭川の金成マツのもとに預けられる。

明治天皇没・1912＝ 3歳：

21ヶ条要求・1915＝ 6歳：登別の小学校に入学。

本格政党内閣1918＝ 9歳：__この年，旭川の金成マツのところに金田一京助が来訪，すべての契機がこの時に生じた。

原敬首相暗殺1921＝12歳：小学校を卒業し，旭川の金成マツのもとに同居。尋常高等小学校の高等科に入学。

水平社結成・1922＝13歳：上京した姉幸恵が金田一京助宅で死去。登別に戻り，転校。

関東大震災・1923＝14歳：高等科を卒業，室蘭中学校に三番の成績で入学。この年，姉の「アイヌ神謡集」が刊行された。
校長をはじめ，教師にめぐまれた。

金融恐慌・・・1927＝18歳：蓄膿症手術のため入院し，経済的な理由もあって，1年休学。__「民族」に論文発表。アイヌの「山の刀禰浜の
刀禰物語」を和訳して，金田一京助に褒められる。

世界恐慌・・・1929＝20歳：中学校を卒業し，幌別の役所に勤めるが，まもなく退職。__金田一京助の援助を受け，

海軍軍縮条約1930＝21歳：第一高等学校に12番の成績で入学。寮生活ののち，書生を経て，

満州事変・・・1931＝22歳：下宿。この年，北海道アイヌ協会が誕生。

五一五事件・1932＝23歳：__「民俗学」に論文発表，以後専門誌に次々と発表して行く。上京したアイヌの陳情団と共に行動，

国際連盟脱退1933＝24歳：東京帝国大学文学部英文科に入学。

帝人疑獄事件1934＝25歳：__言語学科に転科。

芥川直木賞始1935＝26歳：最初的心臓発作を起す。__金田一京助の枠組みを踏まえて卒業論文を執筆し，

二二六事件・1936＝27歳：*唯一のアイヌ語の本格的文法書「アイヌ語法概説」(金田一と共著)を刊行。

日中戦争始・1937＝28歳：東京帝国大学文学部言語学科を卒業し，大学院に進む。郷里に帰って結婚した後，単身上京。__学界初の資
料集で多くの卓見の見られる「アイヌ民譚集」を刊行。

健保+総動員 1938＝29歳：三省堂に勤務し，妻を呼び寄せる。第一子誕生。

大政翼賛会・1940＝31歳：樺太の高等女学校の担任となり，赴任。第二子誕生。

日米開戦・・・1941＝32歳：

・・・・・・1942＝33歳：*「アイヌ語法研究」を刊行し，独自の学説を確立した。

創価学会検挙1943＝34歳：退職して登別へ帰り，北海道大学北方文化研究室嘱託となる。第三子誕生。

敗戦・・・・・・1945＝36歳：

新憲法公布・1946＝37歳：この年，社団法人北海道アイヌ協会が発足。

新憲法施行・1947＝38歳：北海道大学文学部臨時講師となる。第四子誕生。

三大事件・・・1949＝40歳：第五子誕生。専任講師となる。__進行中のアイヌ語辞典の編纂に対し，第一回北海道新聞社社会文化賞。

朝鮮戦争始・1950＝41歳：離婚して，登別を去り，札幌の大学官舎に入ったのち，再婚。

独立回復・・・1951＝42歳：

__その後も次々と論文を発表。金田一京助の文法を出発点としながら独自のアイヌ語文法体系を構築し，ま
たJ. パチュエーや永田方正など先人のアイヌ語，地名研究を鋭く批判した。

TV放送始・・・1953＝44歳：__「分類アイヌ語辞典」"植物篇"は，他の二篇とともに，アイヌ文化研究者にとって必携の書となる。

自衛隊発足・1954＝45歳：__「ユーカラの人々とその生活」，「分類アイヌ語辞典」"人間篇"で，

55年体制始・1955＝46歳：*朝日文化賞。

国連加盟・・・1956＝47歳：この年，再び離婚し，再々婚。__「アイヌ語入門」「地名アイヌ語小辞典」。

__その他アイヌ民族の言語，習俗，フォークロアについて広範な研究活動を行い，

インスタンマン・1958＝49歳：__北海道大学文学部教授となるが，アイヌ人としての強烈な自意識を終生変わらず保ち続け，
この間，半年あまり北大病院に入院し，

安保闘争・・・1960＝51歳：

タイタイ病始・1961＝52歳：おば金成マツが死去後，心臓病で__没した。
没後，「分類アイヌ語辞典」"動物篇"。